

八戸菊花会会長賞

アサガオきょうそう

西白山台小学校 二年 相馬 蘭花

「早くめを出してね。一ばんは、らんかのアサガオがいいから。」

とアサガオに水をあげました。一年生の時に、学校でそだてたアサガオから、たくさんたねがとれました。アサガオの花がともきれいだつたから、たねをうえてまたきれいな花をさかせたいと思いました。お母さんに、アサガオの話をしたら、

「たねがたくさんあるから、おばあちゃんたちにあげて、同じ日にたねをうえてみるといいんじゃない。」

「それいいかも。アサガオきょうそうだね。」と言いました。アサガオきょうそうをすることにきめました。

二年生になった五月二十九日にアサガオのたねをうえました。同じ日に、弘前と五戸のおばあさんたちも、わたしがあげたアサガオのたねをうえました。アサガオきょうそうのはじまりです。わたしは、土がかわいたら水をあげました。毎日朝に、めが出ていないかなと見ました。ときどき、おばあさんたちに電話をかけました。わたしのめがさいしよに出来ますようにとおせわをがんばりました。

六月八日の朝にアサガオのめが一つ出まし

た。やったあ、めが出たぞ。おばあさんたちはどうか。学校に行かないといけないけれど、今すぐに電話をして聞きたいと思いました。学校にいる間もおばあさんたちのアサガオが気になりました。いえにかえってから、弘前のおばあさんに電話をかけました。

「アサガオのめが出たよ。おばあちゃんのは、めが出た。」

「まだ、出ていないよ。」

と聞いて、わたしのめが先に出たぞとうれしくなりました。つぎは五戸のおばあさんです。

「アサガオのめが出たよ。おばあちゃんのは、めが出た。」

「ただだよ。ぜんぜん出てこないよ。」

「やったあ。さいしよだ。」

とよろこびました。ようし、つぎは花がさくきょうそうをしようと思いました。めが出てからも、毎日おせわをつづけました。つるがのびて、しちゆうにまきついていきました。

八月四日の朝にアサガオの花がさきました。ピンクのきれいな花でした。弘前のおばあさんに電話をかけました。

「アサガオの花がさいたよ。ピンクの花だよ。」

「よかったね。おばあさんのアサガオも、もうすぐさきそうだよ。たのしみだよ。」

と言いました。また、わたしがさいしよかな。つぎに五戸のおばあさんに電話をかけました。

「アサガオの花がさいたよ。ピンクの花で、きれいだよ。」

「よかったね。おばあさんのアサガオは、まださかないなあ。」

「またまた、らんかがさいしよだ。やったあ。」とよろこびました。アサガオきょうそうは、わたしがゆうしようでした。ここをこめていっしょうけんめいにおせわをしたからだと思いました。おばあさんたちのアサガオの花もさきました。弘前は、こいむらさきとうすいピンクの花の色でした。五戸は、うすいピンクとこいピンクの花の色でした。わたしの花は、こいピンクとうすいむらさき色でした。二人のおばあさんもきれいな花がさいてよろこんでいました。みんなのわに、きれいなアサガオの花がたくさんさいてよかったなあと思えました。らい年も、またアサガオの花をさかせたいです。でも、きょうそうはしなくてもいいかなと思えました。